



自然と人間社会が共生する只見町

議会だより

No.177

令和6年10月25日発行

2024 OCTOBER



秋晴れの運動会

(表紙の説明は10ページへ)

- 令和5年度決算審査、
高くなる経常収支比率に警鐘！ …………… 2~3
- 建物提案型公営住宅買取事業(小林地内)
薪ボイラー設備整備工事費可決へ …………… 6
- 10名が町政を問う！一般質問 …………… 13~23

只見町議会中継は、只見町議会
ホームページからも視聴できます。
議会中継へ→



比率(86.2%)に警鐘! 決算特別委員会

令和5年度只見町一般会計及び特別会計の歳入・歳出決算特別委員会が設置され、9月17日から3日間にわたって審議されました。

特別委員会は「予算を議決した趣旨と目的に従って適正に効率的に執行されたか」、「その執行によって最大限の効果が発揮できたか」を主眼にし審査しました。

委員会では年々高まる経常収支比率(86.2%)が、危険ラインに近づいていると、意見を付して認定しました。(決算特別委員会審査報告書参照)

決算特別委員会質疑

一般会計決算

歳入

町税

問 収入未済額が993.7千円となり、増えている。町内生活者か否か、分析は出来ているか。

答 町外32件、町内21件だ。引き続き回収に努める。

問

特別交付税が減った理由は。

答

除雪経費が4年度1億から、5年度は5千万円になったため。



歳出

ブナセンター費

問

ポスレジの使用実績は。(＊P.O.Sレジ・バーコードリーダーで読み取った商品情報をリアルタイムで集約・管理できる)

答

5年度は購入のみで、使用していない。効率的な活用をしていく。

移住交流費補助金

問

U・Iターン就業促進補助金等、予算に対し、決算額が少ない。効果の少なかった事業の見直しは。

答

当初予算では多少の目標の積み上げも見込んでいる。今後とも新事業も考慮し、効果的な運用を検討していく。

がん検診委託料

問

検診数が減っている理由と受診率を上げる取り組みは。

答

人口減少により、受診数は減っている。多くの受診に繋がるよう努力する。

成年後見人制度

問

令和7年4月にセンターを立ち上げる計画だが、進捗は。

答

現状では、専門職や候補者が不足している。地域、社協と連携して取り組んで行く。



高くなる経常収支

子宮頸がん検診・ 予防ワクチン

問 子宮頸がん検診・予防ワクチンの啓発は。

答 対象者には通知をしているが、検診・接種率は伸び悩んでいる。検診方法は今後検討する。

農業施設整備事業 補助金

問 目的を達成していない補助事業がある。集落任せで良いのか。

答 事業主体が集落の場合、大きな金額だと集落負担も大きくなる。今年度から上限を300万円に変更した。今後、集落との協議を進め、検討する。

雇用促進奨励 助成金

問 雇用促進する上で今後も継続するののか。

答 町内誘致企業撤退を受けて設立したが、効果があったと判断し、外国人労働者にも適用するため、制度を拡大し、継続したい。



ふるさと納税

問 ふるさと納税のPR方法はどのように。

答 ポスター、チラシ、QRコード、来町者に向けたPRを実施、更なるPRに努める。

観光アプリ 導入委託料

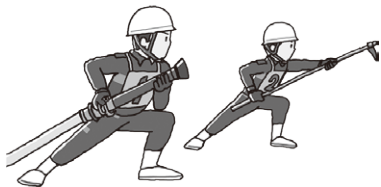
問 現在までの達成度とイベント等の通知機能への活用は。

答 5年度は50%程度と認識している。イベント情報等は発信できていない。加盟店、加入者増を目指し、事業展開していく。

消防費

問 団員報酬の見直しはあるか。

答 現在、内部検討中だ。



総括質疑

問 第三セクターの経営改善に地域活性化起業人の設置、第三セクター経営改善事業を実施しているが、その効果は。

国民健康保険施設 特別会計

歳入

診療収入等

問 滞納者の人数は、対応策は。

答 滞納者は入院・外来併せて11名だ。随時納入を進めるなど、徴収を実施している。通常は年度内に完了している。

歳出

研究研修費

問 医師の研修が実施されていない理由は。

答 研修の重要性は認識しているが、休診せざるを得ない現状だ。引き続き常勤医の確保に向けて努力する。



答 企業の人材育成や経営内容の分析を依頼し、経営改善に取り組んでいる。

令和5年度決算を認定

5年度決算の特徴

令和5年度の一般会計、特別会計を含めた総額は歳入87億2157万円、歳出84億7820万円、歳入歳出差引額2億4336万円となっている。このうち一般会計では歳入59億7405万円、歳出58億6478万円、歳入歳出差引額は1億927万円となっており、町税は前年度対比で2.6%減となっている。

財政の健全化を示す経常収支比率や実質公債費率、公債費負担比率等の数値は健全と判断されたが、数値は年々悪化しており、今後の行財政改革が求められる。

主な事業として、宮前遺跡発掘調査業務委託、薪エネルギー利活用事業、水道配水管布設工事、橋梁補修工事等が挙げられる。(数字は千円単位切捨て)

令和5年度各会計決算の議決状況

(千円以下切り捨て)

会計名	歳入	歳出	賛否		
			認定	不認定	
一般会計	59億7405万円	58億6478万円	11	0	
特別会計	国民健康保険事業	4億4620万円	4億4476万円	11	0
	国民健康保険施設	3億6094万円	3億6004万円	11	0
	後期高齢者医療	1億5511万円	1億5494万円	10	1(山岸)
	介護保険事業	7億9865万円	7億9316万円	11	0
	介護老人保健施設	2億7805万円	2億7801万円	11	0
	地域包括支援センター	728万円	728万円	11	0
	簡易水道	2億7761万円	2億4460万円	11	0
	集落排水事業	4億0730万円	3億3008万円	11	0
	朝日財産区	1633万円	50万円	11	0

討論(討論者)	会計名	反対理由
反対討論(山岸委員)	後期高齢者医療特会	制度自体に反対

特段の行財政改革を求める！

決算特別委員会審査意見

委員長 中野 大徳 副委員長 酒井 右一

決算審査に当たっては、「予算を議決した趣旨と目的に従って適正に、そして効率的に予算執行されたか」、「その執行によって最大限の効果が発揮できたか」を主眼に審査した。

※一般会計

- (1) 本町は財政力が低下し^{*1}経常収支も86.2%と危険ラインに近づいている。只見町中期財政見通しの趣旨を踏まえ、特段の行財政改革を求める。
また、年々税収が低下する中、税の不納欠損及び収入未済額が多額である。当局の特段の取り組みを求め、これが解消するよう求める。
- (2) 負担金、補助及び交付金並びに^{*2}包括協定推進事業委託料などにその投資目的に見合う効果成果が乏しい事案が散見される。また、只見町公共事案補助金交付規則に照らし、補助金交付決定の過程に疑義があり精査に欠けると思われる事案があった。年々投資的経費が先細る中、負担金、補助及び交付金並びに委託料については、その考え方や制度設計に鑑み十分精査すると共に、只見町中期財政見通しに沿った行政執行を求める。

決算審査監査意見

代表監査委員 吉津 文裕 議会選出監査委員 鈴木 好行

・簡易水道事業・集落排水事業について

只見町簡易水道特別会計、只見町集落排水特別会計が令和6年度から^{*3}公営企業会計に移行することは、町民の負担増と今後の事業運営に支障を及ぼすことが想定される。

このため、適切な長期運営計画と、財政計画の充実と運用を求める。

注釈 公営企業会計に移行することで、独立採算を求められることになる。

これによって、簡易水道事業や集落排水事業において、収支が赤字になれば、経営健全化のために使用料金の値上げや、普通会計からの繰入れが必要となり、財政を圧迫するものとなる。

・自主財源の確保について

歳入において、ふるさと納税等の特別寄付金はやや減少傾向にあり、自主財源の確保に向け、新たな取り組みを講ずることが望まれる。更には、収入未済額の早期解消を目指すこと。

・人口減少対策に係る補助金について

移住支援事業補助金、U・Iターン就業促進補助金、若者定住支援事業補助金、住宅取得支援事業補助金等、人口減少対策に係る補助金の活用が当初計画を下回っている。効果の上昇しない事業の検証と、移住希望者に対する新たな取り組みと、効果的なPRの検討を求める。

・只見町国民健康保険施設（朝日診療所）の運営について

朝日診療所の運営について、今年度は医師の働き方改革や、常勤医師が不在となることから、入院、休日・夜間診療が出来なくなり、診療収入の大幅な減収が見込まれる。

医療体制の確立と、安定した診療所運営のためには、常勤医師の確保は急務である。一日でも早く医師を含めた医療人材確保に努めること。

- ※1 経常収支比率 一般的に70～80%が適正水準といわれており、これを超えるとその地方自治体の財政の弾力性を失いつつあると考えられている。
- ※2 包括協定推進事業 福島県地域創生総合支援事業（サポート事業、地域創生・市町村枠を活用）包括連携協定に基づき、アウトドアアクティビティガイド育成のため講習会を実施した。また、只見町エコツーリズム発信のためにジャパンエコトラックルートの登録などを実施。
- ※3 公営企業会計 公営企業会計とは、事業収入を主な財源として、独立採算の原則に基づいて特定の事業を経理する会計のこと。

建物提案型公営住宅買取事業、薪ボイラー設備整備工事費可決へ

条例改正

●町長・副町長の給料の減額にかかる条例改正

職員の個人住民税の不適切な事務処理に対する減給
9月給与月額を町長は20%、副町長は10%減給

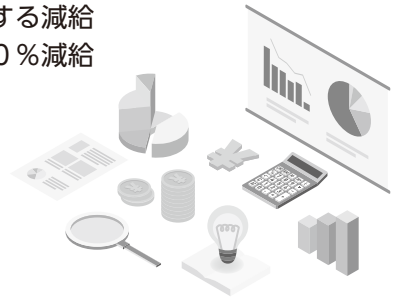
質疑

問

処分の対象の範囲、減額の基準は。

答

過去の事例や近隣の町村の事例をもとにした。



●只見町犯罪被害者等支援条例

DV等犯罪被害者が安全で安心して暮らせるよう必要な支援が途切れることなく提供されるよう社会全体で支えていくために条例を制定。県内23市町村が制定されている。南会津郡町村未制定であったが、今回条例が提案され、議決される。

補正予算

●薪ボイラー設備整備工事 **2億6800万円**

薪エネルギーの活用を図るため、間伐材を利用しむら湯、湯ら里への加温給湯設備を整備

●建物提案型公営住宅買取事業契約の締結

1億4630万円

小林地内の町有地へ、町が定めた仕様に基づく公営住宅建築の買い取り事業
令和7年4月入居予定(1階車庫・2階居住スペース)単身向け2戸、世帯向け2戸

●ただみ元気応援券を発行

諸物価高騰に対する経済対策として、1人1万円の商品券を支給

4027万円

●診療所レントゲンのデジタル撮影装置の購入

鮮明なレントゲン撮影装置への更新

1815万円

●コロナウイルスワクチン接種委託料

高齢者等のワクチン接種負担軽減のための委託料
自己負担2,500円

1581万円

●電力・ガス・食料品等価格高騰対策 一体型支援給付金

320万円

6月3日現在、只見町に住所のある世帯対象、住民税非課税、均等割り世帯への給付金。
当初5年度繰越金で支出予定の不足分の増額補正。
(105世帯対象予定)

●急発進防止装置購入補助金

20万円

高齢者の踏み違いによる運転事故防止のための装置の取り付け補助金
半額補助、上限2万円



教育委員再任

教育委員会委員 矢沢 悟 氏を再任

任期：令和6年12月1日～令和10年11月30日

9月10日全員協議会

薪エネ町内循環の 取り組み動き出す！

ープ購入補助金を検討する。

議会より指摘されていた、湯ら里の源泉及び施設改修事業の問題については、来年度当初予算に源泉再掘削予算を計上。施設改修は新社長等と協議のうえ進めていきたいとの説明があった。

主な質疑応答

問 薪ボイラー建設事業の財源は。

答 県より再生可能エネルギー事業として補助されるものを充てる。

問 事業の継続性はあるのか。

答 10年間分の資源が確保できる調査結果であり、関係者と今後も十分協議しながら進めていく。

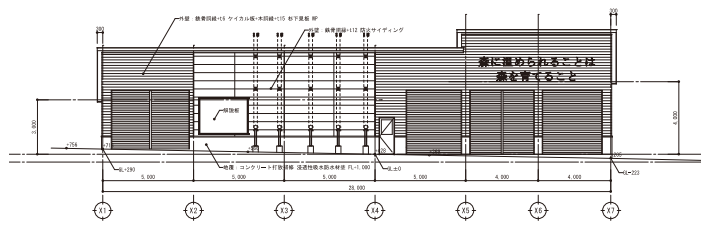
問 間伐材を運び出したりという費用について

てはどのようにして捻出していくのか。

答 森林環境譲与税などを活用していく。

問 森林環境譲与税を薪エネルギー以外にも使っていくべきではないのか。

答 この税については森林活用に使っていくものだと考えている。



町内循環システムの拠点として

駅前複合施設建設事業

只見線広場に

- 1 情報発信
- 2 町民生活
- 3 コミュニティ
- 4 地域振興
- 5 アウトドア

それぞれの拠点を作り、八十里峠の開通に向け、観光の拠点、町民の生活基盤や賑わい、子育ての取り組みといった多岐にわたる複合施設建設に向けた説明があった。

質疑応答

問 五つの拠点は全て必要か。

答 必要と考え提案している。見直しが必要となれば考えるが、現時点では五つの拠点で考えている。

問 観光公社が管理運営とあるが、

制はとれるのか。

答 人材確保は求めていかなければならない必須のことだと考えている。

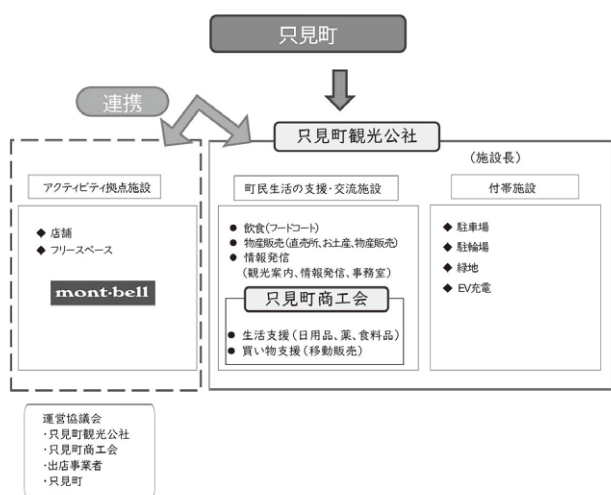
問 アウトドアフィールド拠点の中にモンベルショップは必要なことなのか。

答 国道289号が開通したことを考え、企業の考えも只

見町にはそれなりのポテンシャルがあるので必ず目で見ているので必要なものと考ええる。

問 生活の拠点の部分で商工会という説明があるが、事業者に細かな説明はしているのか。

答 町の経済を支えてきた商工事業者にまずは話をしていくところである。今後、更なる協議を進めていく。



まだまだ課題の多い管理運営体制

● 安定した医療体制を

朝日診療所は常勤医師が不在となる見込みの中診療体制等を分かりやすく、遅滞なく町民へ情報周知するよう求めてきた。

9月会議の総務常任委員会にて、10月から令和7年3月までの診療体制が示された。

平日の診療は、福島県立医科大学外医療機関より医師が派遣され診療が行われる。

今後10月以降は派遣医師により診療が行われるが、常勤医師不在であり、休日、夜間等を含めた診療体制について継続して調査する。

● 只見町の医療・介護・福祉の在り方は

今年度から、只見町医療・介護・福祉の在り方検討会が発足しているが、核となる診療所の医療体制が安定していないため、実質の検討には至っていない。

委員会においても診療所、介護施設の現状を把握し、継続して調査していく。

● 認定こども園

令和7年4月開所予定

認定こども園は、来年4月開所予定であり、今後の具体的な運営体制等含めて継続して調査する。

● 複合施設はどんな施設になるのか

駅前複合施設整備について説明があり、道の駅の機能を有した施設を目指しているが、冬期間の雪や近隣町民のことを考え、24時間利用可能な施設としては考えていない。町民の買い物や買い物支援も出来るような施設を考えているとのこと。委員会ではまだ多くの課題が残っていると判断し、今後も慎重に審査を続けていく。

新ポイラー事業は施設整備完了後の運営についても調査研究していく。

○ 施設の配置計画



○ 複合施設の利用計画(案)

施設配置計画案に基づき施設における内部機能配置計画を示します。



すべて必要な施設なのか？

● タブレット利用には 会議規則の改訂が必要

公式なタブレット利用のために、条例・規則の読み直しを実施した。

その結果、町村議会標準会議規則に合わせ、只見町議会会議規則の改正が必要な箇所が見つかった。同時に「電子機器の取り扱い」について明文化が必要であると決定した。その内容は細かく規定を定めるのではなく、「只見町議会基本条例を遵守すること」を基本とし項目は最小限とする。

また、実情に沿っていない規定が見つかったため、資料として合わせて議長に報告することとした。

議会全体として、電子機器利用の理解を深めるためデモンストレーションから始めたい。ICT化調査研究の最終協議事項は「議員全員タブレット化する必要があるのか、タブレットの購入を予算化する必要があるのか。」とした。



議会運営委員会

- 6月12日 6月会議に係る追加議案等について協議
- ・工事請負契約2件
- ・朝日財産区管理委員選任意7件
- 6月28日 所管事務調査
- ・議員のなり手不足
- ・行政視察
- 7月22日 7月会議提出議案について協議
- ・一般会計補正予算
- ・陳情結果1件
- 8月5日 所管事務調査
- ・議員のなり手不足
- ・議会改革
- ・電子情報処理組織活用
- 8月23日 8月会議提出議案について協議
- ・条例改正2件
- ・契約案件1件
- ・財産の取得1件
- ・一般会計補正予算
- 9月4日 9月会議提出議案について協議
- ・請願・陳情
- ・9月会議の日程等

南会津地方環境衛生組合

●2つの広域圏組合が統合へ

令和5年度主要な施策の成果及び予算執行の実績に関する報告が承認。令和5年度南会津地方環境衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定が議決、令和6年度南会津地方環境衛生組合一般会計補正予算(第2号)が議決された。

そのほか、令和6年南会津地方環境衛生組合議会全員協議会が開催され、広域圏組合と環境衛生組合統合の進捗状況について説明を受けた。併せて統合に係る構成町村の議会で議決を要する議案について説明を受けた。



南会津地方広域市町村圏組合

全員協議会

- ① 消防出張所・分遣所庁舎整備基
本計画の改定(案)について
- ② 消防出張所・分遣所庁舎整備事
業の進捗状況について
- ③ 広域圏組合と環境衛生組合統合
の進捗状況について
- ④ 統合に係る構成町村の議会で議
決を要する議案について



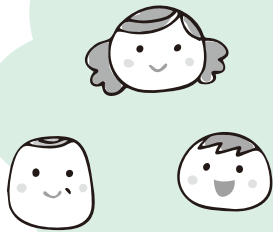
◎令和6年8月9日(金)、組合議員による管内の消防本部・署・各出張所・各分遣隊を視察した。

◎令和6年第2回南会津地方広域市町村圏組合議会定例会が令和6年8月29日(木)開催され、令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定と一般会計補正予算が可決された。両議案の内容は以下のとおり。

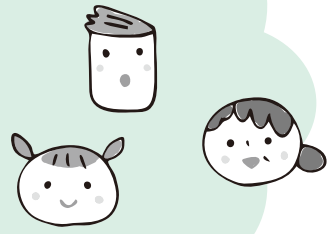
**令和5年度
一般会計歳入歳出決算認定**

歳入総額は、13億9411万円
で、前年度に比較し34.2%の増、
歳出総額は13億7627万円で
前年度に比較し37.5%の増とな
った。主な事業は、消防出張所・
分遣所庁舎整備事業の実施に伴う
もの。

一般会計補正予算は、歳入で前
年度繰越金1379万円。歳出は
財政調整基金へ695万円の積立
てと予備費に718万円がおもで
ある。



町民の声



町のこと、議会のことについて想いを聞きました。

やさしい町に

50代 男性

私は約20年前にUターンして、只見町に帰って来ました。都会に慣れて高校を卒業すると、親元を離れた一人です。帰ってきて、将来只見町は無くなるかもしれないなと思いました。まず子供が少ない、少子化だけの理由で子供が少ないのだろうか？子供が少ないということは親が少ない、私の同級生、先輩・後輩何人只見町に残っているだろうか？親元を離れ就職し、家庭を持ち両親が高齢になり、心配でUターンをしたいが様々な理由があり、帰れない方々がいると思います。一度親元を離れ生活することは、決して悪いことではありません。子育て世代になった時に、やっぱり只見町で子育てがしたいと思えるまちづくりを目指していただきたいと思えます。やさしい町只見町、福祉・介護・医療の充実、希望を書けばきりがあります。町長、議員の方々色々な考えや意見があり大変なことだと思えますが、良い町づくりをお願い致します。応援しています。

町の活性化を願う

30代男性

今、只見町が直面している様々な問題（人口減少、高齢化など）は、自然現象の一環であり、特に大きな問題とは思っていません（予測通りの急）。ただ、変わりゆく環境に對しどのようなアプローチをし、対応してきたかで結果が大きく変わると思います。問題解決をするにあたり、まずは活性化を上げる必要があると感じています。町・議会・町民の意思は共通です。同じ方向を向き、士気を上げ、協力し合える関係を築くことが大切ではないでしょうか。例えば、地域の特性や観光資源を明確にする。それを最大限に活かす方向で、観光客に訴求する戦略を立てる。町民には豊かさを楽しむことができる仕組みを見える化し、意見を集う。一つ一つの目標を全員で真剣に取り組み、解決することが地域の活性化となります。その結果として人口減少や少子高齢化などの課題改善に繋がるのではないのでしょうか。地域の活力が将来にわたり持続可能であるために、活気溢れるバトンを繋いでいただけるよう次世代を担う若者として、願っております。

表紙の写真に想う



町内3保育所で運動会

9月の週末に3保育所で運動会が開催されました。保護者や祖父母の方だけではなく、地域の皆さんが応援にかけつけてくれました。年少さんの踊りでは「めげーなー」とニコニコの笑顔に、年長さんのリレーでは「がんばれー！」と大きな声援が飛び交いました。保育所での運動会では最後となり、来年からは認定こども園での大人数での運動会となります。更に活気のある運動会となることから今から楽しみです。

八十里越期成同盟会総会が開催

7月24日に八十里越期成同盟会の総会がありました。この会は国道289号八十里越の開通を促進、機運を高めることを目的とした組織となります。構成会員は只見町・三条市の首長と議会議員であり、令和8年秋～令和9年夏頃の開通の見込みであると説明がありました。(開通直後は冬季の通行は不可) 只見町議会から、国・福島県・新潟県への質疑と回答は以下のとおり。



工事区間での説明

- Q** 交通量の増加の見込みは。
A 現在は3000台/日だが、開通後は1,800台/日と見込んでいる。
- Q** 周辺道路の拡幅工事の予定は。
A 一部対応を予定している。
- Q** 周辺道路(只見町内・南会津町・金山町)の夜間の除雪体制整備の進捗は。
A 建設業関係者と相談し、区間外も検討する。
- Q** 携帯電話が繋がるように電波塔の整備を要望する。
A 両県から要望いただいているが、総務省からは厳しいと聞いている。
- Q** 暫定開通(冬季は通行不可)の解消見込み時期は。
A 具体的な時期は決まっていない。駐車エリアの整備の考えは。現時点ではない。

新潟県中央基幹病院へ視察

期成同盟会の翌日に新潟県中央基幹病院を視察しました。

ご多用の中、院長自ら案内・質疑の時間を設けてくださりました。只見町側からの国道289号は「命の道」になるとの発言に、院長は「只見町からの救急外来(ER)は断らない方針」と明言されました。その後、10月1日の「三条市・只見町・



救急外来の受入を要望

県中央基幹病院 医師養成の協定」締結となりました。

※ER型救急医療では、救急医がすべての救急患者の初期治療を担当し、必要に応じて各専門医師へ引き継ぐという体制で診療が行われます。



南会津地方町村議会議員大会が開催

7月9日に南会津地方町村議会議員大会が開催され、南会津郡の議会議員全員が一同に集まりました。国会議員、県議会議員が来賓で招かれている中、福島県へ要望事項を伝えました。

只見町議会は「へき地診療所の常勤医師の確保について」「一般国道289号八十里越区間の開通に向けた周辺道路の整備促進について」を要望してまいりました。(医師の確保の全文は前号の176号8項に掲載)



議会を代表し齋藤議員が演壇へ



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.41



アカショウちゃん

議会運営委員会ってなあに?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami

議長 おや、みんな集まってどうしたの?



ブナりん こんど山の文化祭の相談をしなきゃいけないんだけど、どうしたらいいのかわからなくて。議会ではどうしてるの?

議長 そうかあ、そういう時は議会運営委員会を開くんだよ。

イワっぺ ざかい? うん、?? それなあに?



議長 略して議運ともいうんだけど、議会の日程を決めたり議案の内容を審議したり相談する会なんだよ。



アカショウちゃん 会議を開く前の会議なんだね!

議長 そうだね、議会も役場もそれぞれに予定があるから、みんなの都合が合うように相談して調整しているんだ。

ブナりん あらかじめ相談しておけば会議もうまくいきそうだね!

イワっぺ アカショウちゃんはいつも勝手におしゃべりして困るんだよねー。

アカショウちゃん イワっぺだってそうじゃないか!

議長 まあまあ、ふたりとも落ち着いて。会議がスムーズに進行できるよう規則について相談するところでもあるんだ。その他、町民からの陳情や請願をどの委員会に付託するかを決めたり、議会の組織や権限についてのきまりを協議するのも議会運営委員会なんだ。

イワっぺ そうかあ、ぼくたちも議運を開こうね!

アカショウちゃん 議長も山の文化祭に来てよね!

議長 わかったよ! 招集通知を待ってるね!



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページから
視聴できます。



各議員のところにQRコードを付けてみました。
一般質問の様子が見れます。
ぜひ見てね！
*注 2名が一緒の録画動画になっています。



ブナりん

一般質問者席

一般質問

- **角田 誠**14
若者の定住促進と交流推進政策とは
- **小沼 信孝**15
町政で力を入れ取り組んだことは
- **矢沢 明伸**16
4年間の渡部町政の政策の評価は
- **齋藤 猛**17
訪問看護ステーションの進捗状況は
- **平山真恵美**18
子どもを支える意識の醸成を
- **酒井 右一**19
認定こども園開設と小学校統合は
- **中野 大徳**20
国道の危険箇所早急な対応を
- **目黒 道人**21
町民プール、なぜ再開しないのか
- **菅家 忠**22
公共施設等総合管理計画の進捗は
- **山岸 国夫**23
難聴者への補聴器購入補助を

町政を問う

町を想い10名が

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

若者の定住促進と交流推進政策とは



まこと 議員
だ 田 誠
つの 角

答 町補助金等の活用を周知し需要に応える

問 町営住宅の入居率が高いとは言えないが定住促進住宅の建築が盛んに実施されている。何故か。

答 町営住宅は公営住宅法に基づき国庫補助により低所得者に賃貸する目的で整備した住宅であり入居率は71%と低く空室は14戸である。定住促進住宅は只見町への定住を促進するため、所得による入居制限を設けないことで幅広い方が安心して暮らせる住宅として整備している。

問 既存の町営住宅の耐震補強やリフォームを施し、入居者の安心安全を確保することも重要であると考えるが。

答 只見町町営住宅長寿命化計画に基づき国庫補助金を活用し実施している所である。

問 青年団は町内三地区で活動していたが、現在は明和青年団しか活動していない。青年団活動は若者間、地域間の交流促進の根幹を成すものであり、定住離れや孤立解消の一翼である。持続と復活を町として支援し、交流促進を図ることで人口減少抑止策に大変有効であると考えが認識と見解は。

答 ご認識の通り青年団活動は明和青年団のみである。団員減少等の課題を抱え

ながら活動を継続されており、現在行っている社会教育団体育成補助金の交付をはじめ、団の主体的な活動や課題検討を支援していく。

問 全体的に役場職員の業務が追いついてない。職員一人当たりの業務量は適正であるか。既にキャパオーバーの意見があるが。

答 超勤が多い部署もあるため業務量が多いのは間違いない。課内で平準化を図り事務見直しを行い、業務負担の軽減と平準化に努めていく。

問 正当な残業代は支払われているか。サービス残業は切ないか。

答 超過勤務命令簿で時間管理しており勤務手当を支給しているため基本的にサービス残業はないと認識している。



青年団活動は交流促進の根幹である

町政で力を入れ 取り組んだことは

答 テーマを掲げ取り組んだ

問

渡部町政が4年目を迎えようとしている、この4年間最も力を入れ取り組んできたことは何か。

答

掲げた政策目標は『只見町の将来に向かって行動する町づくり』とし、その中に幾つかのテーマを掲げ取り組んできた。

問

テーマの一つとして「安心して暮らせる町づくり」を掲げているが、今、町民が最も心配していることは、診療所の問題だ。

答

医師確保に一生懸命取り組んでいると理解する。だが、せめて看取り入院だけでも出来

るようにしていく考えはないか。

答

先生方関係機関と協議している最中であり、私からそういうことを話すと混乱を招くと思われるため今は話せない状況だ。

問

いろんなことはあると思うが、町長として「こうしたい」「こう考える」等の方向性を聞いている。

答

看取り入院が出来ることは望ましいと思うので、その努力はしている。

問

この先町長を続ける考えであれば、しっかりと、そこに向かって取り組んでいくといった考えでないか。

答

そのように努めていきたい。

問

多くの事業を進めようとしているが、情報の周知が遅いという町民の声もある。しっかりとした町長のメッセージを発信し、早めに情報を出すということが求められているのではないか。

答

速やかな情報開示を心がけたいが、こと医療については県からの情報開示解禁というものもあり、その辺の事情はご理解頂きたい。そのほかの事業の取り組みなどについてはしっかりと情報発信に努めていく。



お ぬま のぶ たか
小沼 信 孝 議員



このままでいいのか朝日診療所！

4年間の渡部町政の 政策の評価は



あき ずわ のぶ
矢沢 明 伸 議員

答 医療問題、後退している
医師確保努力していきたい

答 政策目標の実績
評価、特に医療
問題、診療所の医師確
保については逆に後退
し、町民に不安を与え
てしまっていることに
責任を感じている。医
療については引き続き
努力する。五つの指標

問 渡部町政は「只
見町の将来に向
かって行動するまじづ
くり」として政策目標
を掲げ取り組まれてき
たが、その実績、評価
をどう捉えているか、
さらに今後の進退表明
は。



町民の安心な生活のよりどころ・朝日診療所

問 4年間の政策目
標の実績評価の
中で、今後最大限取り
組んでいかなければな
らない施策は何か。

答 間違いなく喫緊
の課題は朝日診

による種々の施策につ
いては方向性をようや
く示したところであ
り、2期目に意欲を持
っていることを表明さ
せていただく。

問 振興計画の町民
アンケートに
「日常生活の不安をな
くすことが必要」との
記述がある。日常生活

療所の医師の体制であ
る。従来の環境からし
て著しく町民の方々が
不安に思われたことは
間違いのない。結果とし
て出せるよう引き続き
しっかり取り組んでい
く。

答 農地については
集落内合意によ
って耕作放棄地解消に
向けた対策を支援し、
担い手への集積を図
り、景観、生活環境、
鳥獣被害対策に有効な
施策を研究し耕作放棄

問 今般10年後の農
地を誰が利用す
るのか、農業の方向を
示す「地域計画」の策
定が始まっているが、
耕作放棄地等の対策が
大きな課題でないか。

答 日常生活の充
実、正にそのも

の不安を払拭すること
が最優先課題で、地域
的に医療体制もこうあ
るべきではないか。

答 医療の課題、農
地については時
代背景として終わらせ
ることなく、只見町が
生き残れるよう日常生
活の安定というお質し
もあり、引き続き努力
する。

問 医療体制が最優
先課題、農地の
耕作放棄地等の課題、
両方とも早急に取り組
んでもらいたい。

地対策にあたってい
たい。

答 深刻な問題と認識している

耕作放棄地対策は 喫緊の課題でないか

のだと考える。医療、
かかりつけ医の体制は
必要と考える。引き続
き努力する。

訪問看護ステーションの 進捗状況は

答 メリット・デメリットがあり検討中

問 遠隔診療の運営計画は。

答 8月より看護師がタブレットを持って診療開始。

問 訪問介護ステーションと遠隔診療は、町長の構想通り進んでいるか。

答 南会津郡内の医師の指示で動け

る訪問看護ステーションがほしいがメリット、デメリットがあり検討中である。

遠隔診療は、タブレット等の環境を整備してほかの医療機関の医師と連携できる診療環境を段階的に目指していきたい。

問 訪問介護ステーションの6月から現在までの検討事項は。

訪問介護ステーションを目指すか訪問介護を続けるか、現在の9名の看護師で訪問介護ステーションを開設した場合、残りの看護師で診療所を運営できるか検討しているが診療所の医師の体制が大きく関わってくるので結論は出ていない。

問 全員協議会で表明された町長の医師確保の案は、実行されたか。

答 地域医療に理解があり貢献いただける方を知事、副知事、医療人材対策、地域医療振興協会等において、あらゆる方法で医師の確保を図りたいと思っている。

問 町村会として医療問題を知事に要望した成果は。

答 福島県の負担で民間の会社を使って朝日診療所を最優先に医師の募集を今後展開していく。との返答。

問 遠隔診療についてタブレットでどれくらいの診療ができるのか。

答 訪問診療を受けていた患者で状態の安定した方の血圧測定、薬の処方を行う

ている。

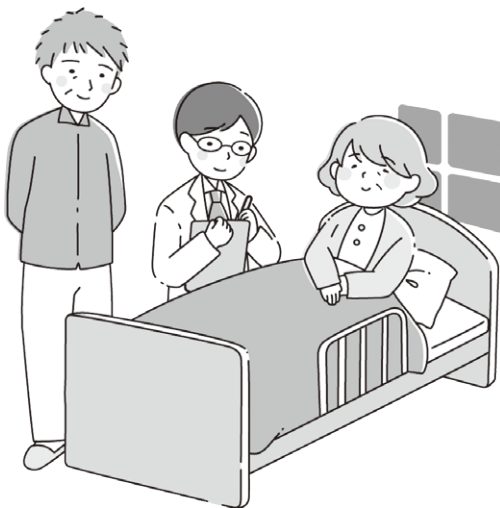
3ヶ月に一度の対面診療で状態に変化がなければタブレットで遠隔診療を行っている。

問 ドクターカーを使うリモート診療を今後検討される予定はないか。

答 タブレットを使った遠隔診療を行っているのですぐに導入するということはないが代替可能なものを含め検討し取り組んでいきたい。



さいとう 齋藤 たけし 猛 議員



安心できる医療体制を

子どもを支える意識の醸成を



ひらやま ま え み
平山真恵美 議員

答 共通認識を持つ連携体制を構築

問 地域全体で子どもの育ちを支えるには意識の醸成が重要だがどのようにお考えか。

答 社会が多様化する中で、悩みを抱える養育者やストレスを感じる子どもが増加しており現状を重く見ている。子どもの育ちを支えるため、地域全体で共通認識を持ち、地域と連携し必要な支援を進めていく。

問 乳幼児期から青年期までの方針を明文化し、政策に反映することが必要だと考えるが、どうか。

答 町民とともに目指す子育て環境を共有し、地域が一体となり子どもを支える意識の醸成を目標としている。平成27年に「只見町子育て支援・少子化対策の推進に関する条例」を制定し、結婚、出産、子育て支援を基本理念に定めている。今後は「第3期子ども・子育て支援事業計画」策定に向け、具体的な事業計画づくりを進める。

当事者を尊重した政策推進を

答 包括的な子育て支援政策を重視

問 子どもたちの権利を守る子育て支援政策の進捗はどうか。

答 少子高齢化が進む中、次世代を担う子どもの権利を守る包括的な支援は重要である。また、行政の取組が縦割りになりがちな点も課題として認識している。今後は、専門性とマンパワーを活用し、子育て世代包括支援センターと連携し、切れ目のない支援体制を整備する。

問 認定こども園設置後の包括的な支援政策の見通しはどうか。

答 朝日保育所を「幼保連携型認定こども園」に移行し、教育と保育を統合することを町として大きな転機と捉えている。これを機に、地域での育

て支援のあり方を見直し、充実させていく必要がある。

問 伴奏型子育て支援の検討状況はどうか。

答 伴奏型の子育て支援の重要性を認識しており、地域全体で子育てを考える体制づくりも「只見町子ども子育て会議」の中で検討していく。



地域ぐるみで子育てを

認定こども園開設と 小学校統合は

答 より良い教育環境の実現に努める

と思う。現段階では具
体的な計画はないが、
引き続き議会、地域の
意見を伺いながら、よ
り良い教育環境の実現
に努めていく。

問

児童数が激減し
ている。複式学
級も増加している一方、
中学校は統合され、新
たなこども園も一部統
合される。現状では小
学校だけ三箇所を設置
されている。

答

町としても深刻
に受け止めてい
る。中学校は平成19年
に統合となり、保育所
の一部統合の検討が進
んでいる中、小学校に
ついても今後の児童数
の推移を見据え、より
良い教育環境の在り方
を検討する必要がある
ことから「只見町立小

問

学校在り方検討懇談
会」において対応策を
議論している。

朝日小学校改築
にあわせて町内

答

の小学校を統合する考
えはないか。

「只見町立小学
校在り方検討懇

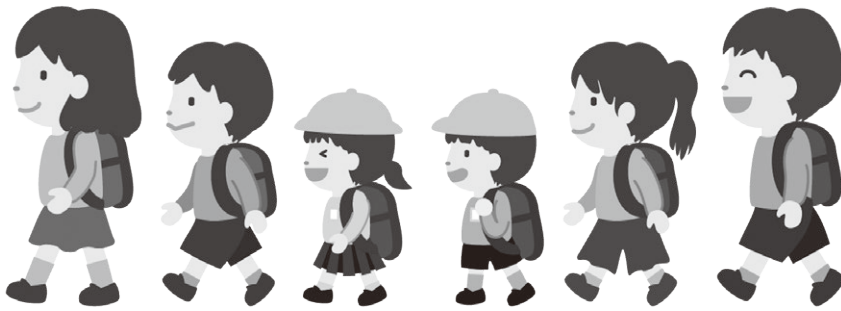
問

談会」で小学校の在り
方が検討されている現
状であるので、現時点
では統合の具体的な考
えは持っていない。

改築される認定
こども園と小学

答

校の併設はできないか。
効率的な施設運
営や子どもたち
に連続した教育環境を
提供する観点から、併
設という選択肢もある



現状に合わせた教育環境の整備を



さか い ゆう いち
酒井右一 議員

国道の危険箇所 早急な対応を

答 国、県へ要望し改良促進をお願いしている



なかのたかのり
中野大徳 議員

問 危険箇所等の改良を進めているが、現在の状況は。

答 南会津建設事務所との地域課題検討会や各期成同盟会の中で、県及び国への要望活動を実施し、改良促進をお願いしている。現在の只見地区の駅前交差点については既に着工済となっており年内の完了予定となっている。大倉地区の歩道整備については用地の取得中であり、工事については来年度着工予定である。

問 町内国道には様々な危険箇所が見受けられる。只見川の河川整備計画に伴い、多くのダンプカーが、国道252号、289号を往来している。更に、只見線全線開通に伴い増加した「撮り鉄」と言われる人々や観光客も多く見受けられる。

答 様々な機会を利用して要望活動を実施している。国道252号線については、歩道はなかなか優先順位が上がらない。町として道路幅員を確保しないと危険箇所が消えないということで要望は続けていく。



危険箇所の解消を

早急に常勤医師の確保を

答 県と協力し、努力する

問 常勤医師が不在となっているが町長の考えは。

町長の考えは。

答 10月1日からは常勤医師が不在となる状況だ。早急に常勤医師を確保したいと考えている。現在、県と協力し、県外からの医師移住・定住促進のための「ふくしま医師移住定住促進事業」の一環として、医療採用サービズを利用した常勤医師の募集に取り組んでおり、県及び医療人材のマッチングをサポートする事業者とともに、応募いただく医師の希望に合わせた業務内容、勤務要件に柔軟に対応できる体制

や医師が働きやすい環境を整えるといった話し合いを進めている。働きやすい環境や休日の確保などは医師の希望要件に大きなウエイトを占めているといった事業者の話もあり真摯に取り組んでいく。医師からオファーを待つばかりでなく、町として積極的なアプローチも必要と考えている。常勤医師確保のために、日々努力する。

町民プール、なぜ再開しないのか

答 監視員体制の構築が困難だ

問 学校プールにおいて、一般細菌増加の原因はその後特定出来たか。またその対策は検討されたか。

答 現時点では明確な原因の特定には至っていない。しかし衛生管理を徹底するための対策を校長会で共有し、次年度から実施する。

問 朝日小学校の細菌数が飛び抜けて多いのは、設備が古せいではないか。

答 3つの小学校のうち一番古いのが、濾過装置のメンテナンスは定期的に行っている。

問 肌寒い時期にプール開き、本格的に暑くなる8月を前に

に終了してしまう。開始時期、利用期間について伺う。

答 ご指摘のとおり肌寒い時期のプール開き、暑い時期に終了と子供達にとっても残念なことと認識している。各学校と協議し、見直しを図っている。

問 町民プールを利用できないのはなぜか。

答 毎年、監視員を公募しているが応募が無く、町民プールの運営が困難であることをご理解いただきたい。



とみちぐろめ 議員 黒道人

問 これも言わば人口減少問題であり、機会損失になっている。今回はプールを引き合いにしたが、人口が減っても生活の質を落とさない、この二律背反をどう成立させていくのか。

答 大変大きな課題だ。即効性はないかも知れないが、地域の価値を大人自身が認め子供へ伝える、こういうことが人口流出を止めることにつながるかと考える。

問 町下プールの、プール以外の活用方法を民間に公募する考えはないか。

答 その発想は無かった。今後検討したい。



町下プールの活用方法はないのか

不適切な事務処理、組織解決を

答 支え合う組織づくりを目指したい

問 職員の不適切な事務処理はこれまでも多少なりあった。能力には個人差もある。最大限の努力はすべきだが、不祥事になるくらいならギブアップする余地があっても良いのではないか。

答 確かに組織づくりの研修はこれまで無かった。チーム研修など今後の研修計画のあり方を担当課と検討したい。

公共施設等 総合管理計画の進捗は



菅 け家 議員
ただし 忠 議員

答 施設の再配置計画が必要

問 公共施設を現在のまま維持した場合、年間の不足見込み額は。

答 40年間平均で約4億円である。

問 施設の延べ床面積で20%の削減目標を立てているが達成度は。

答 施設の統廃合が進まず新たな施設が増えた結果、延べ床面積は増えている。

問 個別の施設での統廃合の年次計画の策定状況は。

答 策定に至っていない。

問 このままでは将来世代へ毎年4億円も負担させることになる。そんな町に帰ってこいとは、私は言えない。町全体での写真、「只見町の10年20年先を見据えた、場所を伴う役割分担」を

答 決断する必要がある。議会と当局が本腰を入れて議論する箇所はここだと考える。

問 将来世代に負担を残さないよう努力をしていく。その達成には、町民の声を聴き「議会と当局が共に方向性を決定する」ことが必要だと考える。

広域で取り組むべき課題とは

答 医療・福祉・広域交通の考えに同意

問 第八次福島県医療計画、福島県地域医療構想を確認したが、「南会津医療圏」ではなく「会津・南会津医療圏」となっている。これでは只見町のひっ迫した現状が見えにくいと考える。南会津単独であるべきでは。

答 以前は、南会津単独であった。

問 前向きに捉えるのと、「医療圏はすでに広域化されている」と読める。そうであれば、医療資源の偏在化の解消を訴えてよいと考える。

また両沼郡・南会津郡で医療の線は引かないとも読める。大塩まできている奥会津在宅医療センターの拡充・

答 連携ができないか。只見町にとって医療圏の拡充の可能性があるのではないか。

答 かつて医療圏が独立していたと悲観的になるのではな

く、宮下病院等の近隣の医療施設との連携。広域的にカバーしていく視点を持つこと。これからの時代に必ず必要になると考える。



広い視野での政策展開を

難聴者への 補聴器購入補助を

答 踏み込んだ研究をする

問 身体障害者手帳交付の対象とならない軽度・中程度の難聴者への補聴器購入補助制度創設を求める。

6月会議では「今年

度から町の検診時に75歳以上の方を対象にアンケート形式で聞こえの調査を実施する。今年度はアンケートを分

析して、制度設計でき

るか次の段階に進めた
い」との答弁であった。
アンケート分析の結果
と制度設計への方針を
問う。

答 健診会場で30
4名から回答。

その内5割が聞こえの
悪さを感じている。約
3割が不便を感じ、そ

の内約8割は補聴器を
使用しておらず医療機
関も受診していないこ
とが分かった。今回の
調査で、高齢者の状況
をある程度把握するこ
とができた。受診勧奨
とフォローアップを行
っていく。補聴器購入
の補助制度について
は、全国の動向を注視
しながら引き続き研究
していく。

問 補助制度の只見
町の判断は何か。

答 只見町は高齢化
が進んでいる。

75歳以上の聞こえの調
査結果を尊重し、12月
議会に向け補助制度に
ついては踏み込んだ研
究を進め報告できるよ
うにしたい。



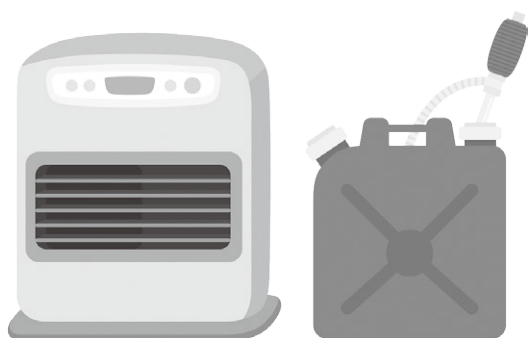
やま ぎし くに お
山岸 国夫 議員

福祉灯油の復活と制度化を

答 町民1人当たり1万円の町内利用商品券発行

問 福祉商品券（福
祉灯油）の復活
と制度化することを提
案する。物価高騰が続
くなかで、高齢者の生
活は深刻さを増してい
る。豪雪地帯でお年寄
りが寒い冬を暖かく過
ごすために町が手だて
をとることは、福祉施
策として、また健康を
維持していくうえでも
大切な施策である。町
の考えを寄せ。

答 町内利用商品券
発行事業で町民
一人当たり1万円の商
品券を発行する。諸物
価高騰に対する経済対
策として冬季間の生活
の一助となるように検
討した。



福祉商品券の復活を

只見町の良いいん



只見中学校
3年 目黒 季音

私が考える只見町の良いところは、三つあります。一つ目は、豊かな自然です。夏は綺麗な緑の木々、

今と未来の只見町



只見中学校
2年 渡部 悠希

只見町の魅力は、人がやさしいところや自然が豊かなところなどたくさんあります。しかし、その反面課題もたくさんあります。今の只見は、年々人口が減っており、少子高齢化も進んでいます。また、観光

秋になると鮮やかな紅葉など、季節によって様々な色に変わる自然を楽しむことができます。

二つ目は、あたたかい町民のみなさんです。登下校中に会ったら、挨拶してくださったり気さくに話しかけてくださったり、本当に優しい人ばかりです。

三つめは、SDGsの活動を積極的にしているところ

に来る人も少ないと思います。

そこで僕が見たい只見の未来を考えました。まず、只見の良さをさらに活かし、発信して課題の改善につなげていくということです。

人口増加や若い人を増やすのはとても難しいことです。なので、今まで以上に只見の魅力を発信することで観光に来る人が少しでも増え、より活発な町づくりができると思います。

僕も中学校生活の中で、只見をよりよくしていくた

ろです。私たち中学生は新聞バッグを作ったり、海でゴミ拾いをしたりしています。これからも続けていきたいです。

ひとこと

どの3つも素敵なことですよね。議会もゴミの分別をしっかりと続けていきます。

めに出来ることを考え、実行できるようにしていきたいです。

ひとこと

私たちも皆さんに負けなように、実行するまちづくりをすすめていきます。

編集後記

今年は真夏日が多く、農作物への被害が懸念されましたが、いつの間にか残暑も治まり朝夕の寒暖差が出て、冬の足音が近づいて来ました。

広報委員会では、町民と議会との交流の場を目指しており、町民の皆さまに分かりやすく手に取って頂ける「議会だより」の編集を目指しております。

町民の声コーナーでは町のこと、議会のことなど「見える意見」を広く募集しております。

題名や内容については自由です。自分の好きなこと、町に対してのメッセージ、これから心配なことなど、皆様の熱き想いをお待ちしています。

これからの皆様の声を伺い、議会の開かれた情報発信が出来る委員会を目指して参ります。

(角田誠委員)

発行責任者 議長 佐藤 孝義

広報広聴常任委員会

委員長 菅家 忠
副委員長 目黒 道人
委員 鈴木 好行
小沼 信孝
矢沢 明伸
角田 誠

議会報告会を行ないます!

テーマ 『町や議会に望むこと』
とき 12月1日(日)
場所 只見公民館・朝日公民館
明和公民館

※都合の良い会場に是非お越しください。
※時間は調整中です。